

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人山田重次の上告趣意について。

右は量刑不当論であるから、刑訴応急措置法第一三条第二項により上告適法の理由とならない。

よつて、刑訴施行法第二条旧刑訴第四四六条に従い、裁判官全員一致の意見によつて、主文のとおり判決する。

検察官 十蔵寺宗雄関与

昭和二五年一二月二八日

最高裁判所第二小法廷

|        |   |   |   |   |
|--------|---|---|---|---|
| 裁判長裁判官 | 霜 | 山 | 精 | 一 |
| 裁判官    | 栗 | 山 |   | 茂 |
| 裁判官    | 小 | 谷 | 勝 | 重 |
| 裁判官    | 藤 | 田 | 八 | 郎 |